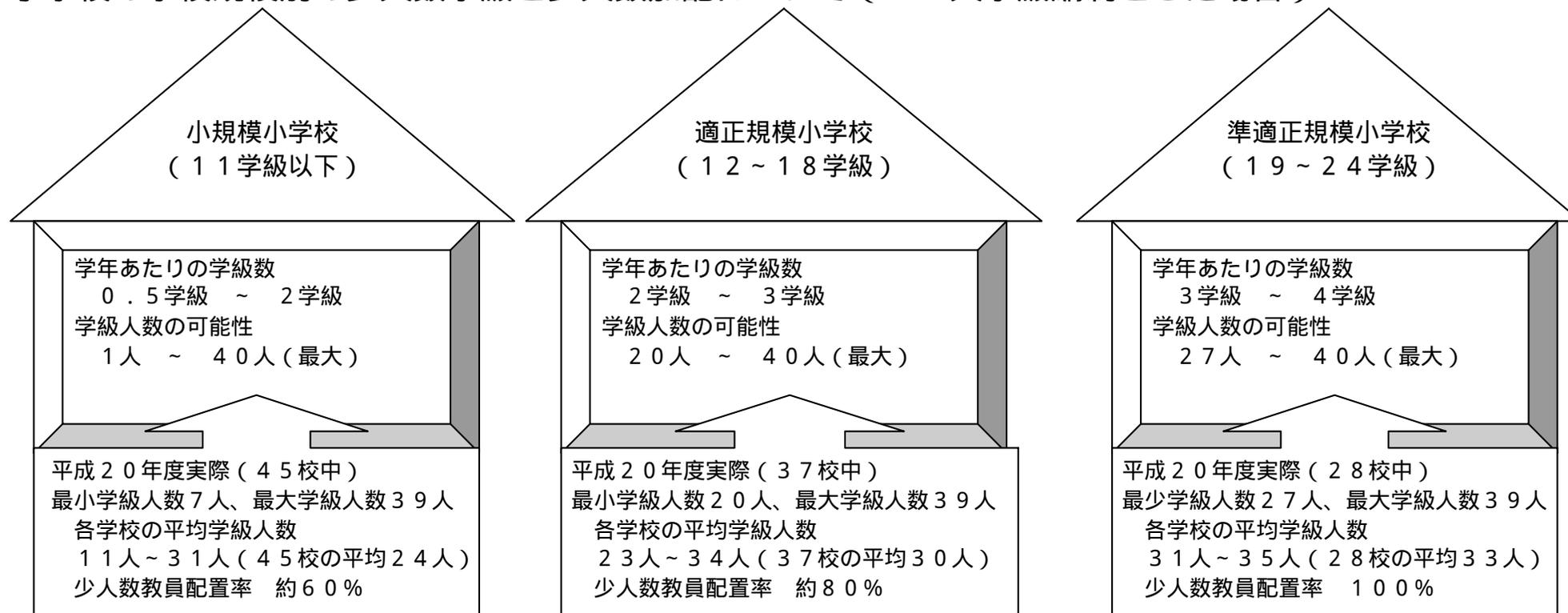


適正規模化に伴う変化について～花島小学校～

	小規模小学校のメリットデメリット		花島小学校の実際
	メリット	デメリット	
人間関係面	<p>子ども同士、お互いが顔なじみで、校内ではまとまりやすく、仲間の性格をよく理解し、生活することができる。</p> <p>ほとんどの教員が、すべての子どもたちと関わることができ、アットホームで和やかな雰囲気的环境ができる。</p>	<p>クラス替えができず、入学から卒業まで同一集団で過ごすため、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたち同士のかかわりや競い合いの機会が限られ、社会性が育ちにくい。 ・子ども同士、保護者同士の人間関係や評価が固定化しやすく、いったん人間関係がこじれると、修復が難しい。 <p>先生の眼のゆきとどいた生活に慣れてしまい、多人数の集団に加わって行動しなければならない場面で、内弁慶になりがちである。</p>	<p>子どもたちの人間関係が広がり、友人が増えたと言っている子どもが多い。</p> <p>統合前の子どもたちは、（算数はA君が1番、かけっことはBさんが1番といった具合に）自分の位置関係が固定化され、活動への取組みや自分を向上させようとする意欲を持ちにくい状況があった。統合後は、様々なタイプの仲間と知り合う中で、向上心が芽生えてきた。</p> <p>陸上大会や球技大会等対外的な活動について、団結意識が芽生えた。また、良い意味での競争意識が生まれ、互いに切磋琢磨して、強くなろうとがんばった。</p> <p>人間関係が広がることにより、相手を意識し、統合前に比べ、自制できるようになった子どもが見られた。</p>
教育指導面	<p>時間をかけた丁寧な指導ができ、子どもたちの発表の機会が多くなる。（算数の九九やたて笛の指導など、くり返し練習する学習には有効である。）</p> <p>集団としてまとまりやすい。</p>	<p>教師への依存度が強くなり、学習等への取組みが受身になりがちである。また、多様な意見を取り入れて自分の考えを深める学習ができにくく、得意な子どもの考え方に全体が引っぱられやすい。</p> <p>いくつかの班に分けて学び合う活動は、学習班の数に限りがあるので、他の班との比較があまりできない。</p>	<p>多様な学習形態を展開することができるようになったので、学習活動が活発化し、子どもたちの向上心が高まってきている。</p> <p>教員の数に余裕が生じたので、少人数指導が行えるようになった。</p>

	小規模小学校のメリットデメリット		花島小学校の実際
	メリット	デメリット	
教育指導面	<p>運動会や各種発表会などの行事で、子どもたちがそれぞれ何らかの役割を分担し、ひとりあたりの出場・出演回数も多いので、行事への参加意識が高まる。</p> <p>運動場・体育館・プールなどの施設、理科教室や音楽室などの特別教室の活用、及び運動用具・教材・教具の利用が十分にできる。</p>	<p>行事は、全体として盛りあがりにかける。高学年は、準備・出場・後片付けと忙しく負担が大きい。また、集団演技や団体競技もできにくい。合奏・合唱の編制規模や劇等の出演者数も縮小せざるを得ない。</p> <p>体育では、サッカーなどの集団ゲームがミニゲームにならざるを得ず、チーム数が少なく、相手も同じなので意欲をなくしがちである。また、音楽でも、多人数による大合奏が難しい。</p>	<p>統合前は、体育の集団ゲームや音楽の合奏などがしづらかったが、統合後は、状況に応じて様々なグループに分けて活動をするができるようになり、意欲的に活動する子どもが増えた。</p>
学校運営面	<p>教職員間での意思の疎通が図られやすく、方針等がまとまりやすい。</p> <p>行事の運営で小回りが利くため、多様な活動が計画できる。</p>	<p>小学校では、専科教員を配置できない。中学校では、担当一人で全学年を教えたり、免許外の教科を担当するケースがある。</p> <p>教職員一人あたりの校務分掌の数が多くなり、負担が大きい。出張等で学校を離れて行う業務に対応できないことがある。学年・教科運営を若手であっても一人に任せるしかなく、教職員同士の相談や切磋琢磨ができない。</p> <p>行事において、立案や計画を立てる教職員に限られ、負担が大きく、マンネリ化が生れやすい。ピアノ伴奏担当にも苦慮する。</p>	<p>統合前は、教員個々の校務分掌の負担が大きかった。若手教員が多かったが、統合前は、若手であっても学年を一人に任せざるを得ず、若手教員を育てるのが難しかった。統合後は、指導力向上のため、若手教員がベテラン教員の授業を参観したり、話し合ったりする機会を増やすことができた。</p> <p>出張等の補欠には、教務主任が入らざるを得なかった。</p> <p>旧花見川第四小では、少人数指導をするための教員がいなかったため、校長・教頭・教務主任が、（不定期的に）指導をすることがあった。</p>

小学校の学校規模別の少人数学級と少人数加配について（40人学級編制とした場合）



少人数教育

少人数学級
（少人数の学級編制とする方法）

少人数指導（少人数の学習集団をつくる方法）
一つの学級を複数の教員で指導するチーム・ティーチング
学級を分割したり、同学年の児童を一度まとめた上で複数のグループに再編する。（習熟度別指導等）